

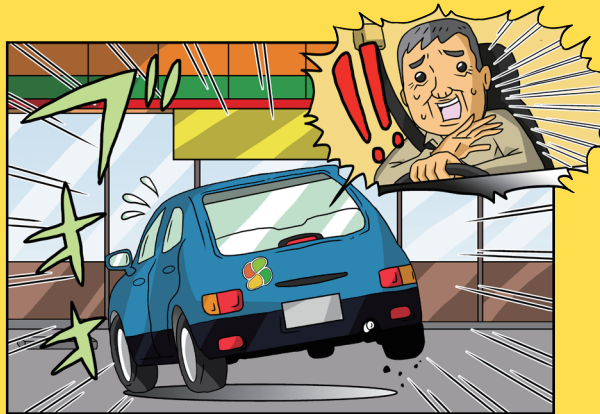
SJクイズ

[問題編]

Q1

年齢層別で、アクセルとブレーキの踏み間違い事故の全交通事故に占める割合が最も高い層は次のうちどれでしょう？（平成24～28年の合計）

- ① 24歳以下 ② 65～74歳 ③ 75歳以上



Q2

平成28年の75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者^{*}となった交通死亡事故件数を車種別にみると、平成19年と比較して約2.3倍増加した車種は次のうちどれでしょう？

- ① 軽乗用車 ② 軽貨物車 ③ 普通乗用車

Q3

75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者^{*}となった交通死亡事故件数を車種別・事故類型別にみると、軽乗用車で最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ① 出会い頭衝突 ② 正面衝突 ③ 工作物衝突

※第1当事者＝交通事故の当事者のうち過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。

【使用上の注意】

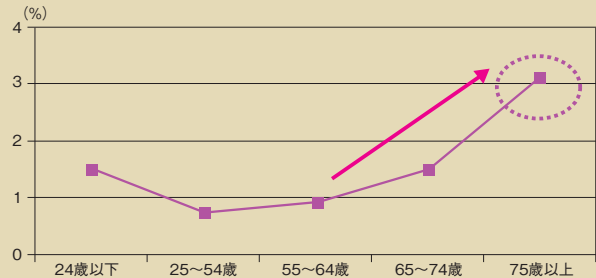
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q1 解答 ③ 75歳以上

<解説>

全交通事故（平成24～28年）に占めるアクセルとブレーキのペダル踏み間違い事故の割合を年齢層別にみると、75歳以上が約3%と最も高くなっている（グラフ参照）。これは高齢ドライバーに特徴的な事故形態の1つといえる。高齢ドライバーは今後も増加が予測されることから、アクセルとブレーキの踏み間違い事故の防止は重要な課題である。

●第1当事者が四輪車（特殊車両、ミニカー除く）の年齢層別ペダル踏み間違い事故割合（平成24～28年）



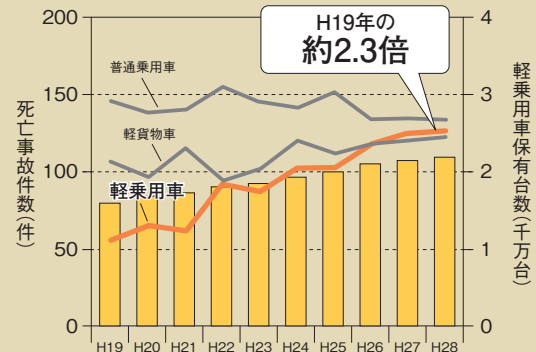
出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q2 解答 ① 軽乗用車

<解説>

75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者となった交通死亡事故件数を車種別にみると、軽乗用車によるものが年々増加し、平成28年（126件）は平成19年（55件）の約2.3倍となっている。この背景には、軽乗用車の保有台数そのものが増えていることに加え、75歳以上の高齢者の保有者数の増加があると考えられる。

●75歳以上の高齢者の四輪車種別・交通死亡事故件数および軽乗用車保有台数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター・イタルダイナフォメーションNo.126

Q3 解答 ③ 工作物衝突

<解説>

75歳以上の高齢者ドライバーが第1当事者となった交通死亡事故件数（平成19～28年）を車種別・事故類型別にみると、軽乗用車で最も多い事故類型は工作物衝突（構成率・26.2%）が最も多く、正面衝突（同・22.3%）と続く。工作物衝突や正面衝突は、乗員へのダメージが大きい事故で、75歳以上の高齢者では死亡事故になりやすいといえる。高齢ドライバーは慣れた道であっても、しっかりと前方に注意して安全運転を心がけてほしい。

出典：（公財）交通事故総合分析センター・イタルダイナフォメーションNo.126

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736